⑵　重要な非資金取引

①　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品　927,809千円

②　現物寄附による資産の取得

取得額　111,301千円

（国立大学法人等業務実施コスト計算書関係）

引当外退職給付増加見積額のうち国又は地方公共団体からの出向職員分　29,920千円

（固定資産の減損）

⑴　減損を認識した資産

①　概要

（単位：千円）

資産名称	種　類	使用用途	場　所	帳簿価額
図書自動貸出返却システム	工具器具備品	図書館利用者サービス用備品	浜松市中区城北三丁目５－１	964
ネットワーク機器 CentreCOM AR450S	工具器具備品	遠隔会議用備品	静岡市駿河区大谷836	617
LifeSize Room及びLifeSize TeamMP	工具器具備品	遠隔会議用備品	静岡市駿河区大谷836 静岡市葵区駿府町１－94 島田市中河町169 浜松市中区布橋三丁目２－２	1,912 1,573 1,458 1,504
遠隔会議システム（リース資産）	工具器具備品	遠隔会議用備品	静岡市駿河区大谷836	826

②　減損の認識に至った経緯

図書自動貸出返却システムについては、機器をレンタルで一台追加導入したため、相対的に稼働率が低下し、今後も回復が見込めないことから、減損を認識しました。回収可能サービス価額が０円であったため、帳簿価額を備忘価格まで減額しております。

ネットワーク機器CentreCOM AR450S、LifeSize Room及びLifeSize TeamMP、遠隔会議システムについては、新規に導入された「研究・情報システム」が、より操作方法が簡便なため、これらのシステムに変わって使用されており、今後も稼働率の回復は見込めないため、減損を認識しました。いずれも回収可能サービス価額が０円であったため、備忘価格まで減額しております。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

（単位：千円）

種　類	損益計算書計上額	損益計算書に計上していない額	計
工具器具備品	826	8,031	8,858

④　回収可能サービス価額の算定方法

減損の認識に至った資産について、購入業者に買取価額と購入価額の見積額を求めたところ、いずれも既に製造が中止されている製品であり、価額を算出することができないという回答であったため、正味売却価額及び再調達価額は０円とし、回収可能サービス額も０円としています。

⑵　減損の兆候が認められた資産

①　概要

（単位：千円）

資産名称	種　類	使用用途	場　所	帳簿価額
自然環境実習施設	土地 建物 構築物	教育・研究用	伊豆市湯ヶ島字鉢窪2857―34	14,700 2,358 989

②　認められた減損の兆候の概要

業務の実績が、中期計画等の想定に照らし、著しく低下しているため。

③　減損処理をしない根拠

排水設備が撤去されたことにより、現在は使用を休止しているが、平成26年度中に浄化槽の設置を行うことが予定されており、将来の利用が確実に見込まれるため。

⑶　翌事業年度以降の特定の日以後使用しないと決定した資産

①　概要

（単位：千円）

資産名称	種　類	使用用途	場　所	帳簿価額
農学部Ａ棟 農学部Ｂ棟	建物	教育・研究用	静岡市駿河区大谷836	233,853 1,480,747

②　使用しなくなる日

Ａ棟は平成27年３月、Ｂ棟は平成28年９月に予定されている。

③　使用しないという決定を行った経緯・理由

新設される新棟に機能を移転させるため。

④　使用しなくなる日の帳簿価額

農学部Ａ棟　213,539千円　　農学部Ｂ棟　1,395,676千円

⑤　使用しなくなる日の回収可能サービス価額

使用価値相当額

⑥　減損額の見込額

回収可能サービス価額が０円となると予想されるため、帳簿価額である213,539千円、1,395,676千円を減損額と見込む。

（土地の譲渡に伴う資本金の減少関係）

名　称	浜松艇庫	浜松艇庫
譲渡した土地の帳簿価額及びその概要	帳簿価額：6,128千円 面積：561.74㎡ 所在地：浜松市中区富塚町5044	帳簿価額：271千円 面積：24.89㎡ 所在地：浜松市中区富塚町5044
譲渡理由	静岡県の護岸工事に伴う土地譲渡の要請に応じて売却	浜松市の道路整備に伴う土地譲渡の要請に応じて売却
譲渡収入の額	17,975千円	398千円
独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額の算定に当たり譲渡収入より控除した費用の額	4,702千円	1,000千円